



26健第2407号

平成26年6月27日

文部科学大臣 殿

福島県福島市杉妻町2-16

福島県知事 佐藤 雄平



平成25年度放射線医学研究開発拠点整備費等補助金に係る基金事業実施状況報告書

平成24年3月16日付け23受文科振第2983号をもって交付の決定の通知を受けた放射線医学研究開発拠点整備費等補助金に関し、放射線医学研究開発拠点整備費等補助金交付要綱第13条第1項の規定により平成25年度における放射線医学研究開発拠点整備費等補助金に係る基金事業の実施状況を下記のとおり報告します。

記

1. 基金事業の実施状況の概要
2. 基金の保有区分別の収支状況

## 1 基金事業の実施状況の概要

事業名	事業の概要	事業費(単位:円)	平成25年度までの実施状況(単位:円)	
			内容	事業費
放射線医学・最先端診断に係る研究開発拠点の整備等	放射線医学県民健康管理センター(早期診断部門)(仮称)の整備等事業	11,362,235,000	・実施設計 ・仮設駐車場整備(H26繰越) ・早期診断部門の運営 ・サイクロトロンを導入	3,599,159,000
	放射性核種の生態系における環境動態調査等	2,245,800,000	・放射性核種の高精度迅速分析法の検討 ・放射線核種の移行調査 ・線量評価	331,197,000
低線量域における被ばく線量モニターの開発	高精度検査に効率の高い、低線量域被ばく線量モニターの開発	625,805,000	・被ばく線量モニター開発 ・機器整備	420,304,000
環境回復・創造技術の調査・研究、除染や放射線に関する情報発信等の機能を有する役割を併せ持った拠点施設の整備等	福島県環境創造センター(仮称)の整備等事業	8,041,659,310	環境創造センター建設事業等	1,150,762,557
合計額		22,275,499,310		5,501,422,557

## 2 基金の保有区分別の収支状況

### (1) 基金の収支状況

事業名	交付決定額又は前年度の補助金残額	当該年度の基金運用による収入額	当該年度中に補助事業に要した経費	当該年度末の補助金残額
放射線医学・最先端診断に係る研究開発拠点の整備等	11,348,754,454	8,343,388	1,017,131,000	9,903,160,842
			254,934,000	
低線量域における被ばく線量モニターの開発			181,872,000	
環境回復・創造技術の調査・研究、除染や放射線に関する情報発信等の機能を有する役割を併せ持った拠点施設の整備等	7,818,928,528	1,648,385	920,425,464	6,900,151,449
合計額	19,167,682,982	9,991,773	2,374,362,464	16,803,312,291

### (2) 基金の年度末の保有状況

基金の保有区分	保有額(単位:円)
譲渡性預金等	16,803,312,291
合計額	16,803,312,291

1. 平成 25 年度基金事業の実施状況概要

(1) 放射線医学・最先端診断に係る研究開発拠点の整備等

ア 放射線医学県民健康管理センター（早期診断部門）の整備等事業

○福島県県民健康管理拠点（本部部門、早期診断部門、最先端治療部門、教育・人材育成部門）に係る実施設計の実施及び仮設駐車場の整備に着手

早期診断部門においては、最先端の画像診断機器（PET-MRI等）を導入し運営を実施。

また、最先端画像診断を行うためのサイクロトロンシステムの発注を行った。（納入は平成 28年1月予定）

開始 平成25年 4月 1日

完了予定 平成28年 1月31日（仮設駐車場整備については平成26年度繰越）

事業項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施設計	[Gantt chart bar spanning from April to June]												
仮設駐車場整備	[Gantt chart bar spanning from October to March]												
早期診断部門運営	[Gantt chart bar spanning from April to March]												
サイクロトロンシステム	[Gantt chart bar spanning from January to March]												

補助対象経費 1, 017, 131, 000円

〔補助金交付決定額 1, 017, 131, 000円〕 繰越額も含めた額

イ 放射線核種の生態系における環境動態調査等

○極微量の放射性核種の高精度迅速分析法の確立

試料中のストロンチウム同位体を高精度で分析するための表面電離型質量分析装置を放医研に導入するとともに、土壌や地下水に適応した分析法の検討を実施。

併せて、プルトニウムについて、土壌及び植物資料における同位体ごとの最適な分析法の検討を実施。

○福島県の住民と周辺環境での放射性核種の移行調査

県内での環境試料の採取、20km圏内での水産物の調査、林産物の実験林での継続的な試料採取、放射能分析等を実施。

○住民が将来にわたって受ける放射線の表か福島県の住民と周辺環境での放射性核種の移行調査

開発中の線量評価モデルを用い、モニタリング値等のデータをもとに異なる汚染度の場所で生活した場合の外部被ばく量を推計し、住民が生活環境から受ける外部被ばく線量の試験測定の結果と

の比較検討等を実施。

着手 平成25年 4月 1日

完了 平成26年 3月31日

事業項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分析法の確立													
移行調査													
線量評価													

補助対象経費 254,934,000円 [補助金交付決定額 254,934,000円]

(2) 低線量における被ばくモニターの開発

ア 放射線・医学県民健康管理センター（早期診断部門）の整備等事業

- 全県民を対象に県民健康管理調査を実施しているが、調査対象が全県民約200万人と広範囲であり、しかも調査期間が数十年と長期間にわたることから、被ばく線量を迅速かつ公正おに測定することが必要である。
- 福島県立医科大学を中心とするネットワークの下で、迅速で高精度に測定ができ、かつ、多人数検査に対応できるシステムの構築を図るため、広島大学と連携しながら、各種機材及び備品等を整備した。
- 染色体の標本化の工程のうち、培養の工程を自動化する分離培養装置試作機の開発委託、ギムザ染色による染色体異常の特定及び解析を行うソフトの開発委託、検査用のスライド標本を全自動で染色し永久標本を作製するシステム、標本から染色体像を探索し染色体異常の解析を行うサイトジェネティックスキャニングシステムの整備、技術指導を行うための教員配置等を実施した。

開始 平成25年 4月 1日

完了予定 平成26年 3月31日

事業項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
被ばく線量モニター 開発													
機器整備													

補助対象経費 181,872,000円 [補助金交付決定額 182,872,000円]

(3) 環境回復・創造技術の調査・研究、除染や放射線に関する情報発信等の役割を併せ持った拠点施設の整備等

○調査・研究、情報発信、環境放射能モニタリング等の各種機能を兼ね備えた福島県環境創造センターの基本・実施設計を完了した。

開始 平成25年2月8日

完了 平成26年3月28日

○福島県環境創造センターA施設本館及びB施設の建設工事に着手した。

工事 A施設本館 着手 平成26年3月26日

完了予定 平成27年6月30日

B施設 着手 平成26年3月26日

完了予定 平成27年3月20日

事業項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基本・実施設計												
建設工事												

## 2. 基金の保有区分別の収支状況

### 基金造成事業実施状況調書

基金の保有区分	造成年月日	保管額	年利率	備考
譲渡性預金等	平成24年3月30日	16,803,312,291円 うち運用益 9,991,773円		譲渡性預金等での運用
合計額		16,803,312,291円		